



グリップヒーターHG 取り付けについて

JJCRC530G1

適合車種：CROSSCUB (JA10)

このたびは、本商品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

ご使用の前に、本書およびグリップヒーター本体の取扱説明書を必ずお読みいただき、いつも手元に置いて、正しい取り扱い方法により永くご愛用くださるようお願い申し上げます。



※パッケージ、取扱説明書の注意事項や内容を無視してご使用し、重大な事故や損害が発生した場合でも弊社は賠償等の責は一切負いかねます。

●構成部品●

- 専用スロットルパイプ、プラス用割り込みハーネス、アース線、取扱説明書

●接続する前に

グリップヒーターを接続する前に車両のサービスマニュアルを参考にしてセンターカバー、レッグシールドなどを取り外しておきます。

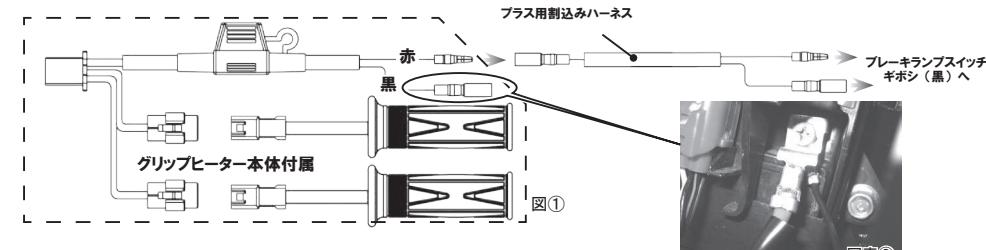
コンビネーションメーター裏の黒いゴムブーツ内に隠れているブレーキランプスイッチギボシ（黒）の位置を確認しておきます。（写真①）

①配線の接続について（図①）

グリップヒーター側ハーネスのギボシ（赤）と割り込みハーネスのギボシを接続し、割り込みハーネスのギボシはブレーキランプスイッチのギボシ（黒）に割り込みます（緑／黄のギボシには接続しないで下さい）。

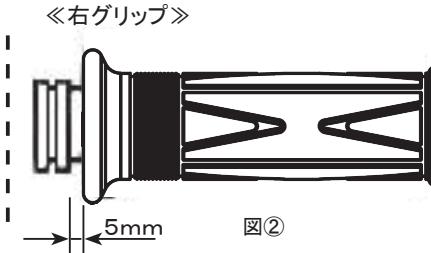
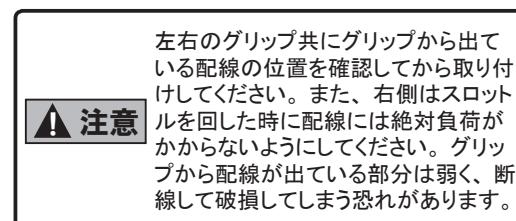
グリップヒーター側ハーネスのアース線（黒）は付属しているアース線を使って写真②のように、バッテリーのマイナス端子に接続するか、フレームアースが取れるところに接続します。アースを取る部分が塗装されている場合には、塗装を剥がしてから確実にアースを取ってください。

このとき、ハーネスの接続のみで左右グリップ、スイッチはまだ接続しないでください。



②左右グリップの取り付け

左右それぞれの純正グリップを取り外します。純正グリップが付いていたところに付着しているボンドをパーツクリーナーなどできれいに取り除きます。グリップヒーターの配線位置を間違えないようにグリップヒーターを差し込みます。このとき、グリップが手で触って暖かいくらいまで仮組みで暖めておくと差し込みやすくなります。また、右グリップは下図のようにスロットルパイプとグリップ間が5MMくらいになるようにしてください。



グリップヒーター取り付け用 KIT

INSTRUCTIONS MANUAL

取扱説明書

●注意●

グリップヒーターを取り付ける際に、グリップヒーターのエンドをハンマーで叩いたり、グリップを強くねじったりしないでください。無理にグリップを押し込むと内部の熱線が断線してしまう恐れがありますので、絶対にしないでください。また、仮組みでグリップを暖める際に1分以上は暖めないでください。（特に右側）。内部が変形してしまい、熱線が出てきてしまう恐れがあります。

※右側グリップはスロットルを全開、全閉にしたときに、グリップから出ているケーブルに負荷がかからないように取り付けてください。

※必ず走行前にスロットルが正常に作動するかどうか手を離した状態でスロットルが確実に全閉まで戻ることを確認、点検を行ってください。

③カウルの加工と配線のまとめ

配線をまとめる前に、一度配線をすべて接続して、グリップヒーターの動作確認をします。問題なく温まったら、一旦配線を外します。

写真③、④を参考にして配線が通します。全てのカプラーを接続し、配線の長さが余っている部分はタイラップなどでうまくまとめて固定します。

→ハンドルを左右に動かしてハーネスに力がかかるでないか、ハンドル操作の邪魔にならないか確認します。

④スイッチ部の取り付け

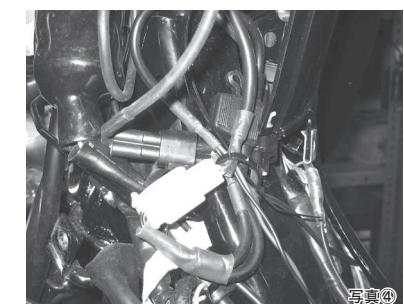
両面テープを使ってハンドルパイプ用ステーに取り付けます。

このとき、ワインカーなどの操作の邪魔にならない位置に取り付けてください。



⑤取り付け完了

カウルを元に戻して取り付け完了です。



・グリップヒーター（スイッチ）の使い方はグリップヒーターの取扱説明書を参照してください。

※デザイン及び仕様変更・価格等は予告なしに変更する場合がございます。

※弊社の取扱説明書等、十分ご確認の上ご使用ください。

※弊社商品以外の保証は一切お受けできませんのであらかじめご了承ください。

※本書やWEB上のイラスト、写真等の記載内容が本商品と異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

有限会社エンデュランス 〒350-0822 埼玉県川越市大字山田1726 TEL 049-222-7770 FAX 049-226-1625
www.endurance-parts.com/